



▲公園の美化活動

7月3日、蓼川公園愛護会の有志の皆さんが、蓼川北公園で美化活動を行いました。梅雨後の晴れ間に、雑草抜きや公園の清掃と、市からもらった夏の花の植え付けをしていました。約500ポットの花を色合いも考えながら植え付け、色とりどりの花に、公園に遊びに来る皆さんの心もきっと和むことでしょう。【大滝 隆司】



▲ミュージックベルふれあいコンサート

7月7日、南部ふれあい会館でONEハート綾瀬ベル“宙”によるミュージックベルふれあいコンサートが開催され、20人以上の市民が参加しました。参加者は、「たなばたさま」や「われは海の子」「浜辺の歌」「思い出の渚」など七夕や夏にちなんだ曲の演奏に合わせて歌い、楽しいひとときを過ごしているようでした。【福島 順一】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲サルビアとマリーゴールドの苗の植え込み

7月15日、綾南公園で山崎地区綾南公園愛護会の会員11人が、サルビアとマリーゴールドの苗約900株の植え込みを行いました。開花期はともに初夏から秋で、花の色が濃い鮮やかな赤色のサルビアと黄色い丸い形のマリーゴールドが、公園を訪れる人の心を和ませてくれると思います。【情報提供・山崎地区綾南公園愛護会 井上輝元さん】



▲綾瀬大橋に小学生のアート

7月19日、平成7年の綾瀬大橋開通時に歩道橋部分に貼られた円形のアートを見つけました。市内の小学生が描いたもので、小学校ごとに直径30cmほどの大きさに絵が描かれていました。綾瀬大橋に虹がかかっている絵や、将来の綾瀬の街と思われる絵などで、とても伸び伸びとしていて、それでいて繊細に表現されていて、感動しました。【馬場 正勝】



▲ふれあい探検ウォークラリー

7月21日、大上太鼓クラブの軽快な太鼓の響きに見送られ「ふれあい探検ウォークラリー」が市役所の前庭でスタートしました。大勢の家族連れや友達同士が、チームに分かれ3kmコースで市役所の周辺を、ゲームに挑戦しながら1時間歩きました。「ふるさと綾瀬の発見のひととき」を楽しんでいる様子でした。【秋元 謙治】



▲ツバメのヒナ

7月9日、吉岡地区で撮影しました。ツバメは、そろそろヒナが巣立つ時期を迎えていましたが、まだ生まれたばかりのヒナの子育てに追われている巣もありました。撮影した巣では、ヒナが3羽生まれていました。【段木 武】



▲オーケストラをバックに合唱合同練習

7月14日、中央公民館で、8月23日にオーエンス文化会館で開催された「アジアユースオーケストラ市制40周年を祝うAYOコンサート」で綾瀬市民の歌を歌うため応募した101人の市民の皆さんが、合同練習を行いました。先生の指導で声を出し、手話を交えた合唱で何回も繰り返し練習し、参加者は汗を流していました。【高橋 元】



▲「おりがみ教室」～水槽の中の生き物～

7月26日、早園地区センターでわんぱくスクール「おりがみ教室」～水槽の中の生き物～が開催され、小学生22人が参加しました。水槽の中の生き物、金魚や魚などの折り方の説明を受けた後、4グループに分かれ、金魚や魚作りに挑戦。最初はぎこちない手つきでしたが、次第に慣れ、きれいに折りました。最後は、水槽に見立てた台紙に貼り付け、完成させました。【福島 順一】



▲自然保護の大切さを学んだ 森林観察学習会

7月9日・11日、長峰の森で「森林観察学習会」が開催され、綾瀬小学校の3年生160人が参加しました。森の働きや生息している動植物の話聞いた後、同森に入り、カブトムシの生態やシイタケが収穫できるまでの話を聞きました。手押し井戸ポンプには大喜びの様子で、交代で水くみを体験していました。自然保護の大切さを学んだのではないかと思います。【情報提供・コミュニティサポートあやせ 刑部好和さん】



▲電柱に恋した木

7月10日、寺尾南地区の比留川第三公園付近で、電柱に寄り添うようにして生えた木を撮影しました。まるで電柱に恋したかのようです。葉の緑と木に付いているオレンジ色の実の取り合わせが映えて、とても元気な様子でした。【澤田 征二】

